

病虫害発生予察注意報第 5 号

佐賀県

作物名：果樹全般
病虫害名：カメムシ類

1) 注意報の内容

発生地域：県内全域
発生量：平年より多い

2) 注意報発令の根拠

- (1) 予察灯での誘殺数は、9月に入り一部地域で急増している（図1及び表1）。
- (2) 県内の一部果樹園において、9月上旬頃から多数の飛来が確認されている。
- (3) 果樹カメムシ類の増殖源となるヒノキ毬果上における寄生数は、平年より多く推移している（表2及び図2）。
- (4) ヒノキ毬果における8月下旬から9月上旬にかけての寄生数が減少していることから、ヒノキ毬果からの離脱が始まっていると思われる。さらに、9月上旬の口針鞘数を考慮すると、今後果樹園内への飛来が増加すると思われる。（表2及び図3 注）参照）。
- (5) 本年はチャバネアオカメムシに加え、ツヤアオカメムシの寄生が多い地域があり、果樹園への被害が遅くまで続くと考えられる（図4）。

3) 防除対策

- (1) 地域や園地により飛来状況は大きく異なるため、園内外をこまめに見回り、早期発見に努める。
- (2) 果樹カメムシ類の果樹園への飛来を認めたら、殺虫効果・吸汁阻止効果が高い合成ピレスロイド剤、ネオニコチノイド剤による飛来初期の防除を徹底する。
- (3) その他の防除対策は、県病虫害防除のてびきく「<http://www.pref.saga.lg.jp/web/shigoto/1075/32933/ns-nougyou/50453.html>」の各果樹品目カメムシ類の項を参照する。
- (4) 地域別の予察灯、フェロモントラップでの誘殺状況等については、農業技術防除センターホームページ（<http://www.pref.saga.lg.jp/web/boujo>）を参照する。

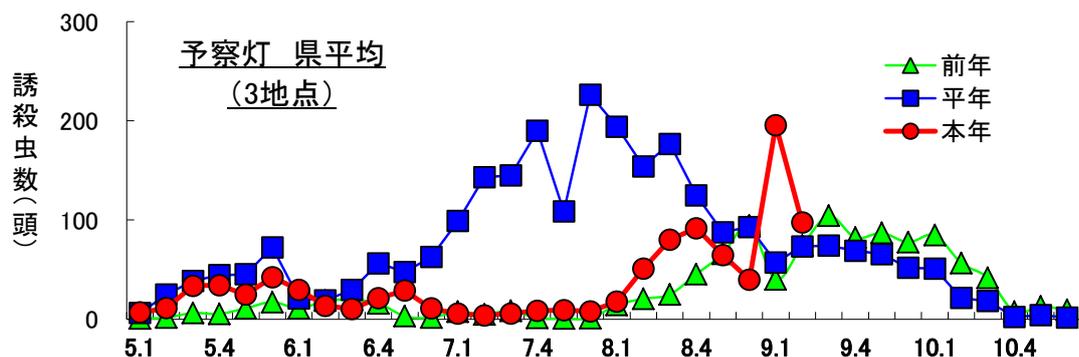


図1 予察灯による果樹カメムシ類の誘殺数の推移（県内3地点の平均値）

表1 予察灯による果樹カメムシ類の誘殺数の推移（県内各調査地点の値）

月・半旬	佐賀市 大和町			小城市 小城町			藤津郡 太良町		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
8.1	44	181	35	24	529	22	2	8	0
8.2	163	210	45	39	351	37	1	9	0
8.3	227	285	88	94	382	12	0	7	0
8.4	277	236	141	85	267	40	4	9	0
8.5	201	153	117	55	192	147	2	5	0
8.6	157	251	133	1	232	245	1	4	0
9.1	96	127	108	686	148	52	1	4	0
9.2	99	150	109	291	158	114	1	5	故障
9.3		184	167		133	146		8	
9.4		171	202		97	45		15	
9.5		229	225		95	36		16	
9.6		115	197		55	36		24	
10.1		159	180		53	74		31	
10.2		72	141		40	29		7	
10.3		48	120		17	5		3	
10.4		2	16		5	7		2	
10.5		8	28		5	10		3	
10.6		4	25		1	3		3	

表2 ヒノキ毬果における果樹カメムシ類の寄生数及び口針鞘数

No.	調査地	ヒノキ毬果における寄生状況						口針鞘数 ^{注)}				ヒノキ毬果着果状況
		7月下旬合計	8月上旬合計	8月下旬合計	9月上旬		9月上旬合計	7月下旬	8月上旬	8月下旬	9月上旬	
					成虫	幼虫						
1	上峰町	1	20	8	9	1	10	0.1	3.2	6.5	5.3	中
2	神埼市	18	24	1	0	0	0	0.7	9.7	15.8	15.0	やや多
3	小城市	4	8	2	20	0	20	1.3	17.9	16.1	10.1	やや少
4	多久市	9	24	5	0	0	0	0.2	9.3	16.4	13.8	やや多
5	唐津市1	3	27	18	4	0	4	0.4	3.7	9.5	24.9	やや多
6	唐津市2	8	35	35	30	2	32	0.3	5.6	18.8	16.1	やや多
7	伊万里市1	42	30	53	13	1	14	0.9	11.6	13.8	17.8	やや多
8	伊万里市2	4	7	22	3	12	15	1.1	4.7	12.8	21.8	やや少
9	伊万里市3	14	9	14	4	4	8	1.3	2.8	5.0	9.3	中
10	白石町	6	4	2	10	0	10	1.3	2.6	8.9	18.4	極多
11	鹿島市1	0	33	25	41	4	45	0.1	0.6	2.3	10.7	やや多
12	鹿島市2	2	7	73	79	10	89	0.2	1.2	5.5	18.1	多
13	鹿島市3	7	9	40	9	23	32	0.8	2.6	10.8	9.8	極多
14	太良町1	29	2	22	14	6	20	0.9	5.1	17.2	14.4	やや多
15	太良町2	12	4	21	9	2	11	2.0	1.6	7.3	10.4	中
	平均	10.6	16.2	22.7			20.7	0.7	5.5	11.1	14.4	やや多
	平年	14.1	12.8	13.4			11.5	3.5	8.4	12.7	17.3	
	前年(H25年)	4.5	1.1	7.1			10.7	1.0	2.9	6.2	7.6	やや少

注) ヒノキ1毬果あたりの口針鞘数が25本を超えると、果樹カメムシ類がヒノキから離脱して果樹園へ飛来することが知られている。

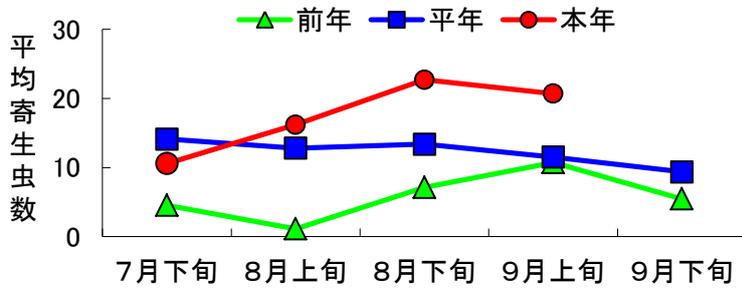


図2 ヒノキ毬果における果樹カメムシ類成幼虫寄生数の推移(県内15地点の平均値)。

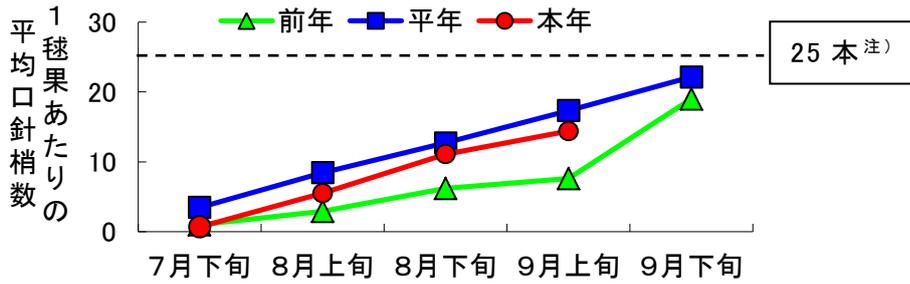
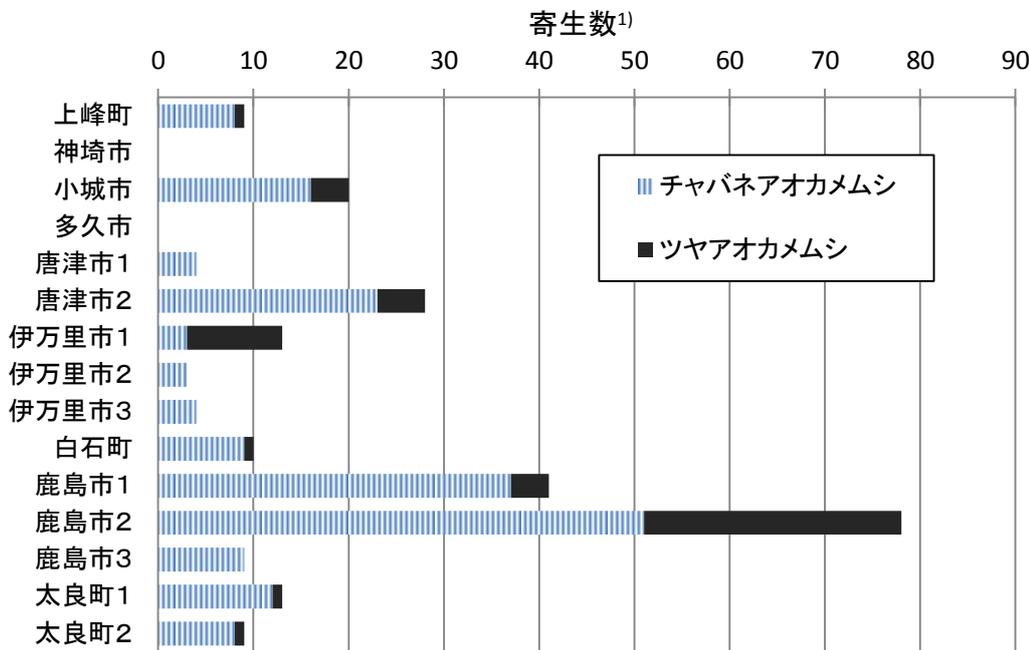


図3 ヒノキ毬果における口針数¹⁾の推移(1地点あたり20果を採取した県内15地点の平均値)。^{注)}ヒノキ1毬果あたりの口針数が25本を超えると、果樹カメムシ類がヒノキから離脱して果樹園へ飛来することが知られている。



1) 1地点あたりヒノキ樹の5枝を5回たたき落として捕獲した成虫数の合計

図4 チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシ成虫のヒノキ毬果における寄生数(9月上旬調査)。